

南三陸町についての第一報は3月13日朝刊だった

～河北新報～

死者・不明1700人超

沿岸部壊滅 南三陸1万人不通

東日本大震災

「南三陸1万人不通」という衝撃的な見出しが朝刊の一面で報じられたのは、震災から2日が過ぎようとする2011（平成23）年3月13日だった。当時の南三陸町の人口は17,666人。住民の半数以上と連絡が取れなくなっている状況であることが全国に報じられた。

町の人たちは果たして生きているのか。この報道は、この町とつながりのある人たちにとって、被害の厳しき大きさを想像させるものとなった。

その後も、生存者の状況や町の被害などを把握することが難しい状況が何日も続いた。ニュース映像に偶然映ったことで、初めて知人が無事であることを知ったという人も多かった。

おとわり 11日発生した巨大地震は東日本の広範囲で甚大な被害が発生。長野や新潟でも震度6クラスの地震が起きたことから「東日本大震災」と表記します。

態になつていないと発表された。町とともに安全確認を急いでいる。

東北の死者数は各県警のまとめで、岩手2577人、宮城1788人、福島1577人、青森3人、山形人の計5966人。津波で壊滅的な被害が出た沿岸部は被害状況の把握が難航しており、死者・不明者は大幅に増える可能性が高い。宮城県は不衛生な状況を示さず「多数」や支援に当たっている。

被災地の地元災害対策本部などによると、津波で名取市周辺地区が広範囲にわたって水没。陸前高田市の市街地にはわずかな建物しか残っていない。宮古市と岩手県山田町はほぼ全域が冠水。南相馬市と宮城県女川町の一部は壊滅状態という。

仙台市若林区荒浜の海岸では、津波に巻き込まれたとみられる200、300人の遺体が確認されている。現場は浸水地域にあり、近づけない状態。名取市周辺でも遺体が多数見つかった。

気仙沼市では、住宅地で大規模な火災が発生した。福島県警によると、須賀川市で藤沢ダムが決壊、4人が死亡、4人が行方不明になっている。政府は5万人規模の自

マグニチュード（M）8.8と国内観測史上最大規模を記録した東日本大震災は12日、被害が増え続け、各警察本部のまとめで死者は計6355人、行方不明者は1700人、行方不明者は645人に上った。宮城県など大規模な被害が出た。市と名取市の体育館に計約200人の遺体が運ばれた。死者は計6355人、行方不明者は1700人、行方不明者は645人に上った。宮城県は12日午後8時、南三陸町で住民約1万人と連絡が取れない状況が多数見つかった。

▲南三陸町の状況を伝える河北新報の第一報 2011（平成23）年3月13日

河北新報朝刊 記事提供 河北新報社